



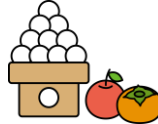
くろするろ〜ど

2023/9月号 第284号

かいほうし
会報誌

ふちゅうこくさいこうりゅう
府中国際交流サロンは、府中に住む
にほんじん がいこくじん なかよ たすあ
日本人と外国人が、仲良く助け合っ
たの せいかつ ねが かつどう
楽しく生活していくことを願って、活動
をつづ 続けています。

★★★★crossroad★★★★★★★★crossroad★★★★



★★★★crossroad★★★★★★★★crossroad★★★★

げっかん がつ
〜サロン月間カレンダー〜9月〜

なつ こうりゅうかい
「にぎわった夏のサロン交流会」

■日本語学習会

きかくぶかいぶかいちゆう かんど くにお
企画部会部会長 漢人 邦夫

にちじ がつ がつ
日時：9月1日(金)～9月29日(金)
月(午前・午後)水(午後)金(午後・夜)

げつ ごぜん ごすい ごきん ぎょ
場所：フチュール会議室・学習室ほか

*9月の土曜学習会は以下の2回です

にちじ がつ がつ
日時：9月2日・16日(土)午後2時～4時

げつ ごぜん ごすい ごきん ぎょ
場所：2日・学習室2、16日・第1会議室

フチュールへの移転後、最初のイベントとして「夏のサロン交流会」が7月22日(土)にフチュールの会議室で行われました。今回は、雨で中止となった

「桜まつり」に出演予定だった民族衣装のパレードを実施したいという文化交流部会からの要望もあり、また、皆さん一緒に踊りましょうという提案もあって、とても盛りだくさんのイベントになりました。なんと学習者の方が23名、ボランティアさんが52名もの方が集まってくださり、大パーティになりました。

■実行委員会

にちじ がつ がつ
日時：9月13日(水)午前10時～昼12時

げつ ごぜん ごすい ごきん ぎょ
場所：フチュール会議室

■日本語教授法初級Ⅱ研修会

にちじ がつ がつ
日時：9月14・21・28日(木)午後2時～4時

げつ ごぜん ごすい ごきん ぎょ
場所：フチュール第1会議室

■文化交流部会生け花教室

にちじ がつ がつ
日時：9月8日(金)午前10時～昼12時

げつ ごぜん ごすい ごきん ぎょ
場所：フチュール学研室

さんかひ えん だい
参加費：500円(15名まで)

■「第9回キテキテ府中マルシェ」参加

にちじ がつ がつ
日時：9月10日(日)11時～午後4時半

げつ ごぜん ごすい ごきん ぎょ
場所：けやき並木通り

■フチュール休館日

9月23日(土)

*以上の件について、詳しいことはサロン事務局で聞いてください。

7月ということもあって、七夕の笹を用意。学習者の皆さんに願いごとを短冊に書いていただき、



自己紹介とともに披露していただきました。続いて民族衣装の紹介が12か国の方々からありました。ネットの情報では得られない民族衣装にまつわる興味深い説明がありました。学習者を対象にした自己申告ビンゴゲームでは、ボランティアさんから景品として提供していただいた数々のプレゼントを手にして皆さん、目を輝かせていました。

今回は、施設から特別に許可をいただき、ボランティアさんから寄付していただいたお菓子をいただ

きょうじゅほうけんしゅうしよきゅう お 「教授法研修初級Iが終わりました」

けんしゅうぶかいぶかいちよう こすぎ えいこ
研修部会会長 小杉 英子

きながらの交流タイムを設定、普段できない学習部会を超えた横のつながりができました。そしてフィナーレはダンスタイム。文化交流部会のリードにより、学習者、ボランティアが輪となって踊り、まさに盆踊りのようになりました。

ということで今回の交流会は大成功。終了後も写真を撮る光景が延々と続き、サロンに集う学習者、ボランティアの方々の結末が広がりました。

次は、秋のBBQ大会を予定しています。どうぞお楽しみに！



わ 輪になって踊る学習者とボランティアの皆さん

5月11日(木)から7月20日(木)まで、全10回の日本語教授法研修Iが終了致しました。講師は前年度同様、東京外国語大学オープンアカデミー講師の山田しげみ先生で今回は3回目となりました。

教材は『みんなの日本語』初級I。今年度の受講者15名の内には何らかの形で教えたという経験を持つ人が多く、毎回沢山の質問が出ました。

フチュールへ移転して初めての研修の為、当初は必要な物がどこにあるかわからなかったり、研修会場が変わったりで、受講者はじめヘルプの方々も研修部員もあたふたする場面がありました。その中で3年目を迎えられた先生がご用意くださるパワーポイントの資料は毎回分かり易く、詳しい説明に加え練習問題も数々そろえてくださいました。丁寧な答え合わせがあり受講者も助かったと思います。

また途中の学習部会見学後、受講者が感想を述べる場面もあり、日ごろボランティアが目にする事のない所属学習部会以外の話を聞くことが出来ました。最終日に行われた課題会話文の「シナリオ発表」は各グループのアイディア(府中のローカル色等)が込められ楽しいものとなりました。15名全員が受講修了証明書を手にし、9月から新ボランティアとして活動することになりました。皆様の今後のご活躍を多いに期待いたしております。

なお、山田しげみ先生による教授法研修初級IIは、9月14日から11月2日までの毎木曜の午後2時より、全8回にわたって実施されます。

また、特別講座として、中村則子先生(早稲田大学講師)による音声講習会が10月14日(土)午後2時より、在留資格講習会(講師はボランティアの寺岡さん)が10月21日(土)午後2時より、それぞれ実施されます。



ぼうさい ほうこく 「防災ワークショップ報告」

せいかつじょうほうしえんぶかい ありま けいこ
生活情報支援部会 有馬 圭子

2019年の台風19号の時に多摩川があふれそうになり、近くに住んでいる人たちは避難をしなければならなくなりました。

台風の時も、地震の時も、緊急の情報には外国人にはわかりにくいものです。どのようにそれに対処したらよいかを知るため、7月29日(土)午前10時より、プラッツ会議室において「外国人のための台風や地震から命を守るワークショップ」が開かれました。参加者は15人。サロン学習者ではありませんが2019年の台風時に避難した経験のあるフィリピンの方も参加されました。

まずはいつ逃げるかの指針となる警戒レベルの数字の説明がありました。レベル3になると電車が止まりコンビニは閉まるので、レベル2の時に準備して動かなくてはなりません。次は、どこに逃げるかです。市のハザードマップ(サロンで入手できます)を見ながら、どの避難所が車で行けるか、ペットと一緒に大丈夫かなど教えてもらいました。避難所は台風、地震の時と開かれる場所が違うということ、また、満員で入れない場合があるので2~3か所を選ぶ必要があります。ハザードマップには避難所や混雑状況がわかるVACANというアプリが表記されています。そして、何を持って逃げるかです。部会員の家に持ち出しリュックを実際に見ながら、何が必要かを確認しました。台風の際はスニーカーで逃げるのが安全で、長靴やサンダルは危ないなどの説明もありました。

秋は台風の季節です。前もって準備をしてくださいね！

きんごご がくしゅうかい しんぼくかい 「金午後学習会の親睦会」♪

きんようごご あじま ふみえ
金曜午後ボランティア 安島 文江

*開催日時 2023年7月14日(金) 15:00~16:00
*出席者 学習者21名、ボランティア19名

親睦会は新規学習者も多いため、いつものパートナー以外の学習者、ボランティアとの交流を通じて、お互いを知り合う機会をつくるために開催されています。

今回は、フチュールに移転して初めて開催されたもので、第一会議室と第二会議室を繋げた大会議室で行われました。

まず、部会長の楽しいトークから始まりました。学習者が一人ずつ前に出て、用意した大きな世界地図に付箋を貼り付け、自己紹介。皆さん、興味深い話に聞き入っていました。

後に学習者から、「前に出て大勢の人の前でしゃべる機会をもらい、自信がついた」という感想もありました。

全員の自己紹介の最後に、ベトナム出身のご家族4人による合唱がありました。曲は『あいうえおの歌』『大きな古時計』の2曲を日本語で歌ってくれました。特に『大きな古時計』は皆さん馴染みが深いようで、口ずさむ方も多く、たいへん良い雰囲気でした。

その後はお菓子を食べながらの“おしゃべりタイム”です。

事前に全員一袋お菓子を持参というお願いをしており、そのお菓子を食べながらワイワイ・ガヤガヤ、LINE交換している人もいて、和気あいあいの中お互い親睦を深めました。

この親睦会は、学習以外でお互いのコミュニケーションを図れたということで、たいへん有意義なイベントだと感じました。



世界の文化

「私の素晴らしい体験」

ラテイ マドヤ セプテイアナ (インドネシア)

「楽しいゆかたの着付け体験」

山口ヴァレリー (シンガポール)

コロナ禍で活動できなかった夏の楽しみなゆかた着付け教室。7月14日、フチュールで4年振りに12名の参加者で行われました。

最初に私がモデルになり、ゆかたを着る順番のタオルで体の補正をし、着物は左前に、くるぶしの長さ、とみんなに説明をしながら着付けてもらいました。



最後に、先生が長い帯で可愛い結び方にしてくれて、みんなから「キレイ」と言われました。私の着付けが終わったら、先生方に参加者達をそれぞれ見てもらいながら、全員楽しそうに着付けができました。

さまざまな国の人は初めてだったので、日本の着付け体験ができて、とても嬉しそうでした。

集合写真の後、自由に写真を撮りに建物の外に出たり、受付の絵の前で撮ったりの時間があり楽しい思い出になったとおもいます。

後日、ある学習者さんが、自宅でゆかたを洗濯する前に、もう一度着てみたそうです。「自分でできて、すごくうれしかった。」と話してくれました。

着付けを教えてくださいました先生方、ありがとうございました。



着付け後の学習者とボランティアの皆さん

2023年2月、私と府中国際サロンで日本語を勉強している友人たちは、府中第三中学校の生徒たちに、それぞれの国や日本での生活について教え、共有する機会を持ちました。私たちは、ウクライナ、中国、イタリア、インドネシア、そして日本から来ました。

私たちは日本語で話していました。生徒は、私たちの母国語で挨拶やお礼をする準備をしっかりとしていましたので、私たちとのコミュニケーションに最適で、歓迎されていることを実感しました。

私は3つの異なるクラスで教えました。それぞれのクラスには異なる特徴があります。生徒がとても熱心に話を聞き、積極的に質問してくるクラスもあります。また、私の説明を聞いている間は落ち着いていて、最後に私の説明を簡単に繰り返してくれるクラスもあります。

インドネシアや大学の森が運営するガジャマダ大学に興味を持つ生徒が多かった。また、インドネシアでよく行われているスポーツや、日本でイスラム教徒がどのような問題を抱えているのかなどの質問もありました。

学生たちと交流できたこと、自分の国を紹介できたことは、私にとってとても良い経験になりました。



「第五小学校の生徒と英語で交流」

リー ユーチャオ たいわん
李 語 喬 (台湾)

7月15日に当サロンからのボランティア3名と学習者7名、府中市内の大学から留学生約15名弱が参加しました。

外国人の出身国は台湾、マレーシア、ベトナム、ウイグル等、国際色豊かです。

目的は、小学校六年生が英語で府中市の有名なスポットと歴史を紹介し、外国人と楽しみながらたくさん単語や身近な表現を習得することだそうです。

私と先生(サロンのボランティア)はペアで3～4人の生徒のグループを回り、自己紹介や府中市の歴史と文化を聞いて、英語の会話を楽しみました。

生徒たちの好きなスポーツ、サッカーや野球などの話はとても盛り上がり、制限時間4分間も短く感じました。

その中で最も興味があるのは「大国魂神社」です。大国魂神社は1900年以上の歴史を誇って神社に入るとパワーを感じられるのが特徴でびっくりするとともに感心しました。

生徒たちが英語で一生懸命に説明し、話し合ってくれる姿がとても頼もしくみえました。

素晴らしい企画に参加できましたことに心から感謝いたします。



五小を訪問した学習者とボランティアの皆さん

みな がくしゅうしゃしょうかい

皆さんよろしく◇学習者紹介

バサント ナビエールさん (エジプト)



「サロンでの勉強は楽しいです」

2019年1月にエジプトのアレクサンドリアから来日しました。ご主人が大阪大学の博士課程で勉強するため、大阪で3年間生活しました。

現在は、ご主人の仕事の関係で1年前から府中で暮らしています。

バサントさんは「Alexandria Science University」で動物学と化学を勉強し、大学院ではパーキンソン病やアルツハイマー病の原因などを研究して修士号を取得しました。

現在は二人のお子さんのお母さんとして、趣味をい活かしてエジプトのデザートだけでなく、いろいろなデザートを作っています。

日本食では、お蕎麦やたこ焼きが好きですし、お寿司や焼きそば、ラーメンなども作っているとのこと。

早く日本語が上手になり、お友達をたくさん作りたいと思って、サロンで週3回勉強をしています。ですから、サロンはとっても楽しいとおっしゃっています。

日本は、とても静かで、自然が美しいと感じていて、好きな日本語は「おはよう」「いいですね」とのこと。

常に笑顔で話されるので、インタビューしている私まで幸せな気分になりました。

(取材・文構成 堤 林)

新ボラさん こんにちわ

「つながりを大切に」

月曜午後ボランティア 海崎 千恵子

今年度の日本語教授法研修Ⅰが終了しました。9月から活動を開始するにあたり、新しいボランティアの方々をこの欄で順次ご紹介いたします。

「日本の生活をエンジョイしましょう！」

水曜午後ボランティア 野中 美枝

私は7年程前に、山梨から府中市に引っ越して来ました、野中美枝と申します。

東京都内は勿論、府中市についても日本語学習者さんと同じ初心者です。これから、日本語学習者さんと共に、府中市の様々な発見と感動を共有できたら楽しいだろうと思っています。

「日本語ボランティア」の講習を受けようと思った経緯を、お話しさせていただきます。

30年以上前、家族の仕事の関係で3年半程、ボストンで生活をしました。学生時代、英語の勉強が大嫌いで、いつも赤点とお友達。まさか、そんな私が海外で生活をする事になるなんて、夢にも思いませんでした。

ボストン生活の最初の一年間は、まさに涙の日々でした。しかし、二年目・三年目と年を経るにつれ、周りの方々の優しいサポートのおかげで、もう日本には帰りたいと思う程、ボストンでの生活が楽しくなりました。

英語の全く話せない私に、優しく寄り添って下さった方々のおかげで、人生で一番楽しい時を過ごす事ができました。

なので、今度は私が日本で生活をされる海外の方々の手助けができたなら…との思いで、講習会への参加を決めました。

日本での生活に不安を持っている海外の皆さん、私と一緒に日本の生活をエンジョイしましょう!!

はじめまして、海崎千恵子と申します。

私は、通信会社に38年間勤務、2022年3月定年退職いたしました。

新人の頃の仕事は、国際電話のオペレータ。日本から世界へ、電話を通してひとひとをつなぐ仕事でした。大学では英語学を専攻。思えば、「つなぐ」、「言語」に縁のある人生のような気がします。

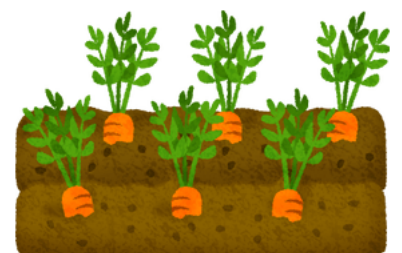
日本語教師のボランティアを志したのも、皆さんと「日本語」を一緒に学び、「つながり」を持ち、日本語を学ぶ皆さんのサポートをしたいと考えたからです。

また、会社員時代、社会貢献を行う部署に従事していたこともあり、リタイア後も世の中が少しでも良くなる活動をしたいと考え、現在は、ウェルビーイングデザイン研究会（社会をウェルビーイングにする仕組みづくり）に参加したり、ポジティブ心理学などを学んでいます。

シェア畑での野菜作り、太極拳の鍛錬も2年目を迎えました。それぞれ異なる活動ですが、何をするにしても、人とのつながり、相互理解が大切と感じています。

これから、皆さんと一緒に、日本語を学びながら、つながっていただけることを楽しみにしています。学習者の皆さんはじめ、ボランティア講師の皆さん、事務局の皆さん、どうぞよろしく願いいたします。

編集部注：「ウェルビーイング」とは：心身と社会的な健康を意味する概念



「異文化に触れるのが好き」

金曜夜ボランティア 長谷川 笑子

日本語教授法研修会 I を受講して感じたことは、日本語はとても素晴らしい！そしてとても難しいということです。今まで普通に使っていた言葉の見方が変わりました。

私は、海外旅行や国際交流など異文化に触れる事が好きでボランティア活動にも参加した事があります。そこでは、学校で文法から学んできた語学が全く話せないなど、もどかしい経験もしてきました。意思の疎通が図れないのは本当に残念です。

今回の研修で言葉の上達は形だけに捉われず、心に寄り添い、相手のニーズに合わせる、そして何よりも楽しく学ぶべきだと思いました。未熟な私ですがどうぞよろしくお願ひします。

好きな事は、色々なジャンルの料理本を読んで分析やイメージをする事です。それから、パン作りも好きです。皆さん、何かお料理の話題やお勧めの本などがありましたら気軽に声をかけてください。



勉強会報告

～104～

「学習者が間違えやすい助詞について」

研修部会 上嶋 康子

7月7日(金) 午前10時から2時間、第2会議室で行われた今回の勉強会は、サロンがフューエルに移転してから初めての開催になりました。当初は6月2日(金)に予定していたのですが、台風2号の接近で雨足が強くなったため、7月7日(金)に延期となりました。(6月2日は午前、午後、そして夜の学習会も中止となりました。)半年ぶりの開催でしたが15人が参加し、助詞についてグループワークをしました。

まず場所を示す「に」と「で」ですが、両方を混同することがしばしばあるようです。述部に存在を表す「ある」「いる」がくるときには「に」を使います(・教室に机がある ・庭に犬がいる)。述部に行為を指す言葉がくるときには「で」を使います(・図書館で講演会がある ・日本で働く)。

方向を示す「に」と「へ」では、「に」は帰着点を表します(・ホームに電車が来る ・国に帰る)。「へ」は方向を表します(・広島へ行く ・右へ回す)。「に」と「へ」はどちらも意味は通じますが、「に」は用法が多いうえ、目的の意味が含まれています。従って、方向を表す表現は簡単な「へ」から学習者には教えたほうがよいといえます。

主語の対象を示す「が」と「を」では、可能を表す表現(「わかる」を含む)では「が」を使います。好きだ・嫌いだ・上手だ・下手だなどの状態を表すときも「が」を使います。願望を表す表現(ほしい・～たい)では「が/を」の揺れが見られます(両方を使っているという意味です)。

学習者が実際に間違えて使っていた助詞の例として、「川に泳ぐとき、魚や貝が見ました。」がありました。動作の場所を表す「で」と動作の対象を表す「を」がそれぞれ混同していたようです(文の時制に

も間違いがありますがここでは省略)。

私は今回初めて勉強会に参加させていただき
ました。特に「に」と「へ」の持つニュアンスの違い
が納得できたことは目から鱗で、参加してよかった
と思えました。そしてグループワークでは他の人の
感じ方や使い方を知ることができ、参考になりました
。最初、勉強会って難しいと思っていました
が、今は、参加して皆さんの話を聞くだけでも新し
い気づきがあるのだな、と思っています。勉強会
の中で自分が一つでも覚えて、それが積み重なって
いくと自分の力になっていきますので、学習者のため
にも参加していこう、と思えました。ご都合がつか
方は一緒に学びましょう。

へんしゅうこうき ～編集後記～

「フチュール」に移転してから6か月が過ぎよう
ととしています。新しい環境に慣れるのに戸惑いつつ
も、日本語学習会をはじめ、日本語教授法研修会、
生け花教室、浴衣着つけ教室、そして「夏のサロン
交流会」等々、1学期はコロナによる制約もなく、
いろいろな活動を実施することができました。サロ
ンの、活気にあふれるかつての日常が少しずつ戻っ
てきているように思えます。

移転によって危惧された学習者の減少も杞憂と
なり、新たに加入する学習者も増えてつあります。
9月1日(金)からは2学期が始まります。秋には
いろいろな企画も予定されており、学習会をはじめ
とする様々な活動をとおして、学習者とボランティ
アの交流がより深まることを願っています。(和田)

ひろ ば みんなの広場

「『キテキテ府中マルシェ』に参加」

第9回「キテキテ府中マルシェ」が下記の日程で開
催されますが、今回、初めて「府中国際交流サロン」
が参加することになりました。当日は、12名の学習者
の方々がそれぞれの国の民族衣裳と文化を紹介し
ます。また、サロンのブースでは、サロン紹介のリ
フレットを配布したり、パネルを展示したりして
サロンのピーアールも行います。是非、足をお運び
ください。お待ちしております！

日時：9月10日(日) 午前11時～午後4時半

場所：けやき並木通り特設ステージ、出展ブース

注・雨天中止

(企画部会)



【創刊】 1997年11月

【編集】 編集長：和田泰弘
会報部会：堤林・和田・岩城・末田

【事務局】 電話：042-352-4178
E-mail：mail@fuchukokusai.gr.jp
サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>

